

野菜の需給・価格動向レポート(平成27年6月22日版)

平成27年6月22日
野菜需給部

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	5月の価格情報		6月の価格情報		7月		生育及び価格の7月上旬までの見通し		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格(平年)		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格(平年)				
	下旬	上旬	中旬	(平年)					
葉茎菜	キャベツ	84.37 67.20	105	67.20	68	69	74.19	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：14,510t (100) 主産地：千葉（45）、茨城（25）、群馬（7）、東京（4） 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、出荷の終盤を迎えていたが、特段の病害の発生もなく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、干ばつ傾向であったが、最近の降雨により生育は回復傾向で特段の病害もないことから、引き続き平年より多めの出荷の見込み。 千葉産の出荷が平年並み、茨城産の出荷が平年より多めの出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		86.69 81.66	98	81.66	91	84	88.91	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：3,800t (100) 主産地：愛知（30）、茨城（27）、大分（9）、兵庫（7）、熊本（7） 	
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	264.10	424	264.10	403	397	273.33	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量：3,910t (100) 主産地：茨城（63）、千葉（21）、輸入（6） 	<ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、干ばつの影響により細物の比率が高かったが、最近の降雨により太物の比率が高まり、生育は順調であることから引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、干ばつの影響により生育に遅れが見られ、細物の比率が高く現在平年よりやや少なめの出荷となっているが、最近の降雨により干ばつ傾向から徐々に回復し太物の比率が高まっていることから、今後は平年並みの出荷の見込み。 茨城産、千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っているため、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		334.73	441	334.73	462	353	487.13	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量：200t (89) 主産地：徳島（29）、奈良（45）、香川（21）、三重（12）、高知（7） 	
	はくさい	67.05	102	67.05	95	128	58.82	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：5,130t (95) 主産地：長野（63）、茨城（22）、群馬（14） 	<ul style="list-style-type: none"> 長野産は、干ばつ後の最近の急激な降雨により一部に品質の低下が見られるものの、全体的には生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、前進出荷傾向であったため、例年より切り上がりが早く6月中旬で終了。 長野県産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づくものの、現在平年を大幅に上回っているため、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		77.96	161	77.96	127	134	62.79	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：2,500t (97) 主産地：長野（78）、茨城（10） 	
	ほうれんそう	376.10	446	376.10	487	466	583.95	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,370t (100) 主産地：群馬（31）、茨城（21）、岩手（16）、栃木（14）、埼玉（5） 	<ul style="list-style-type: none"> 群馬産は、最近の降雨により、干ばつ傾向から回復して生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、作付面積の増加に加え、特段の病害もなく生育は順調であることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。岩手産は、最近の降雨はあったものの、干ばつ傾向は解消されていないが、特段の病害もなく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 群馬産及び岩手産の出荷が平年並み、茨城産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに推移する見込み。
		396.89	502	396.89	519	550	670.86	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：470t (101) 主産地：岐阜（79）、北海道（7） 	
	レタス (結球)	156.23	163	120.13	119	121	120.13	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：7,990t (100) 主産地：長野（74）、群馬（19） 	<ul style="list-style-type: none"> 長野産は、特段の病害もなく生育は順調で、現在は平年並みの出荷となっているが、天候の関係で定植時期のずれにより出荷が重なることから今後は平年よりやや多めの出荷の見込み。群馬産は、最近の風雨の影響で傷や病気の発生が一部懸念されるが、現在は生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 群馬産の出荷が平年並みと見込まれ、長野産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		165.00	193	125.61	125	125	125.61	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,850t (98) 主産地：長野（97） 	
	たまねぎ	71.02	124	71.02	114	111	84.85	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：10,170t (95) 主産地：佐賀（44）、兵庫（18）、香川（12）、輸入（7）、愛知（4） 	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀産は、4月の曇天とその後の干ばつの影響で小玉傾向であることに加え、病害も発生も見られることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。兵庫産は、特段の病害は見られず、現在は平年並みの出荷であるが、干ばつの影響により、今後は小玉傾向であることから、平年よりやや少なめの出荷の見込み。 佐賀産及び兵庫産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		71.02	135	71.02	123	110	84.85	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：3,600t (80) 主産地：兵庫（57）、佐賀（23）、長崎（15） 	
果菜	きゅうり	189.84	205	189.84	187	225	210.69	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：7,280t (103) 主産地：埼玉（23）、群馬（16）、福島（14）、千葉（9）、茨城（8）、栃木（6） 	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉産は、現在は作付面積の減少もあり、平年よりやや少なめの出荷となっているが、無加温タイプの作付面積の増加もあり、今後は平年並みの出荷の見込み。群馬産は、最近の降雨もあって干ばつ傾向から回復しており、生育は順調であることから引き続き平年並みの出荷の見込み。福島産は、これから露地物の出荷が中心となってくるが、最近の降雨により干ばつから回復傾向となり、生育は概ね順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 埼玉産、群馬産及び福島産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		177.22	200	177.22	168	232	221.71	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,600t (99) 主産地：宮崎（40）、高知（17）、徳島（15）、愛媛（10） 	
	トマト (大玉)	209.59	312	209.59	246	261	229.51	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：9,350t (98) 主産地：栃木（22）、茨城（14）、愛知（12）、千葉（12）、熊本（11）、埼玉（5）、群馬（3） 	<ul style="list-style-type: none"> 栃木産は、5月の天候に恵まれ生育は順調であったことから、平年よりやや多めの出荷となっていたが、今後は作型の端境期となるため、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、4月の曇天の影響で草勢が弱く、着果不良などの影響で、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。愛知産は、最近の曇雨天の影響から、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 栃木産、茨城産及び愛知産の出荷が、平年並みもしくは平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、価格は平年並みもしくは平年を上回って推移する見込み。
		228.53	317	228.53	260	277	271.33	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,900t (100) 主産地：熊本（37）、北海道（23）、愛知（13）、石川（8）、福岡（7） 	
	なす	297.07	370	297.07	349	357	209.55	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：4,640t (100) 主産地：高知（32）、福岡（19）、群馬（12）、茨城（9）、埼玉（3） 	<ul style="list-style-type: none"> 高知産は、出荷の終盤を迎えて、6月末でほぼ終了する予定であるが、4月の天候不順の影響から、引き続き平年より少なめの出荷の見込み。福岡産は、出荷の終盤を迎えて、徐々に数量は減少傾向となっており、4月中旬までの天候不順の影響で引き続き平年よりやや少なめの見込み。後続の群馬産は、干ばつ気味であった影響で害虫の発生がみられるものの、今後は露地物が増加することもあり、平年並みの出荷の見込み。 群馬産の出荷が平年並みと見込まれるもの、高知産及び福岡産の出荷が平年よりやや少なめの出荷と見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		271.01	360	271.01	317	326	221.72	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,100t (87) 主産地：高知（29）、大阪（21）、熊本（15）、福岡（11）、岡山（7）、奈良（6） 	
	ピーマン	308.36	332	251.50	341	346	251.50	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：2,440t (100) 主産地：茨城（84） 	<ul style="list-style-type: none"> 茨城産は、現在最盛期を迎えているものの、4月上旬までの天候不順の影響で、初期生育が悪かったことから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 茨城産の出荷が平年より少なめと見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		283.10	271	266.65	290	320	266.65	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：520t (81) 主産地：宮崎（33）、高知（24）、茨城（14）、鹿児島（9） 	
根菜	だいこん	86.59	68	86.59	62	76	94.60	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：8,240t (100) 主産地：青森（51）、千葉（27）、北海道（12） 	<ul style="list-style-type: none"> 青森産は、病害もなく生育は順調であることから、やや前倒し傾向での出荷となっており、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、現在出荷の終盤を迎えて、7月上旬で出荷終了する見込み。 青森産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		94.24	72	94.24	67	85	100.39	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：2,550t (102) 主産地：青森（40）、北海道（21）、鹿児島（24） 	
	にんじん	156.99	171	133.01	180	176	133.01	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：6,680t (100) 主産地：千葉（81）、埼玉（8）、輸入（3） 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉産は、出荷のピークを迎えているものの、4月の天候不順の影響から生育にやや遅れが見られ、小ぶりとなっていることから、今後も引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		148.36	152	132.62	180	182	132.62	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：2,400t (97) 主産地：長崎（55）、和歌山（27）、兵庫（10） 	

種類	5月の価格情報		6月の価格情報		7月 (参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平年)	生育及び価格の7月上旬までの見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格 (平年)	指定野菜の関 東・近畿ブ ロック別平均販 売価額	指定野菜の関東・近畿ブ ロック別平均販売価額			生育及び価格の7月上旬までの見通し			
			下旬	上旬		中旬	下旬	上旬	
いも	さといも 	-	-	344.00	476	393	344.00	• 入荷見込量：171t (-) • 主産地：鹿児島(57)、宮崎(24)、輸入(8)、千葉(4)	
		-	-	347.90	524	424	347.90	• 入荷見込量：22t (-) • 主産地：鹿児島(56)、輸入(38)、宮崎(4)	
	ばれいしょ 	131.80	213	131.80	201	213	101.61	• 入荷見込量：7,910t (90) • 主産地：長崎(53)、静岡(16)、千葉(9)、茨城(7)	
		131.80	215	131.80	191	214	101.61	• 入荷見込量：3,200t (83) • 主産地：長崎(71)、北海道(12)、静岡(7)	

注: 1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均で(消費税は除く)。保証基準額の算定の基となる価格。

2 別々平均販売価額の赤字は平均価格を150%以上回るもの。背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)。

3 単位は円/g。上段は関東、下段は近畿ブロック。

4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局が公表する「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。なお、入荷見込量及び主産地は6月のものである。

5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。

6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

7 平成25年8月20日版より、平均価格と別々平均販売価額を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

8 キャベツの平均価格は、上段が5月1~15日まで、下段が5月16日~6月31までの価格である。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、4月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,693gで前年比96%、購入金額は、2,070円で同110%となつた。	生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)		主要野菜の小売価格(東京都区部)(単位:円/kg)	
	年	過去5カ年平均	平成26年	平成27年
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)
1月	4,272	1,640	4,379	1,775
2月	4,485	1,666	4,646	1,742
3月	4,868	1,811	4,958	1,878
4月	4,765	1,855	4,871	1,887
5月	5,089	1,917	5,146	1,993
6月	5,056	1,902	4,998	1,976
7月	4,402	1,737	4,542	1,770
8月	4,315	1,731	4,275	1,846
9月	4,688	1,844	4,745	2,035
10月	5,191	1,902	5,455	1,973
11月	4,990	1,700	5,291	1,704
12月	5,146	1,927	5,233	1,977

資料: 総務省「小売物価統計調査報告」(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))

注: 過去5カ年平均は、平成22~26年の平均。

資料: 総務省「小売物価統計調査報告」

注: 1 過去5カ年平均は、平成22~26年の平均。

2 平成27年5月の値は、5月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

5月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比93%(中国は同82%、ニュージーランドは同21%)の2万5千トン、にんじんは、同119%(中国は同124%、ニュージーランドは同33%)の6千3百トン、ねぎは、101%(中国は同101%)の4千3百トンとなりた。たまねぎは、前年をかなりの程度下回り、にんじんは前年を大幅に上回り、ねぎは、前年並みとなつた。	野菜の輸入数量(単位:トン)					主な野菜の輸入数量(単位:トン、%)					品目	輸入先	平成26年5月(A)	平成27年5月(B)	(B)/(A)
	区分	平成25年		平成26年		平成27年1月~4月		平成27年4月							
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	品目	輸入先	平成26年5月(A)	平成27年5月(B)	(B)/(A)	
	生鮮野菜	854,420	90	884,735	104	309,023	83	85,749	88	たまねぎ	合計	27,042	25,065	93	
	加工野菜	1,854,679	97	1,785,487	96	579,620	96	166,579	105		中国	23,936	19,629	82	
	野菜合計	2,709,100	95	2,670,222	99	888,644	91	252,328	99	にんじん	合計	5,349	6,373	119	
	うち中国産野菜合計	1,416,557	97	1,409,604	100	434,009	91	118,219	97		中国	4,953	6,145	124	
	中国産シェア	52		53		49		47		ねぎ	合計	4,292	4,340	101	
											中国	4,277	4,338	101	

資料: 農畜産業振興機構「ベジ探」、原資料: 財務省「貿易統計」

資料: 農林水産省「植物防疫統計」

注2: 輸入数量は、検査数量である。

注3: 冷凍を除く。

4 トピック — 中国の最近の野菜輸出動向の特徴について —

